

コミュニティ・サロン運営による地域の拠点づくりが地域福祉力の形成に及ぼす効果に関する研究

杉本豊和・西方規恵・井原哲人・安永正史・森山千賀子

本研究の目的は、コミュニティ・サロンの運営¹に参画することを通して、サロン運営の問題点や課題を抽出し、サロン運営による地域住民の拠点づくりの実施から、地域福祉力形成に関する効果について検討することである。

小平市の西地区の地域住民を中心に、白梅学園大学関係者も参画しながら運営するコミュニティ・サロンは、2013年2月に開所した「ほっとスペースさつき」（毎週火曜日・木曜日）と、

2015年5月本格開所した「ほっとスペースきよか」（基本毎週月曜日）の二か所である。2015年度の来訪者の実績は、表1・2の通りであるが、ほっとスペースさつきはボランティアスタッフ（1日4名）数を計上していないため、その分を差し引くと、どちらも各回の平均来訪者数は10名程度を推移している。来訪者は「高齢者を始め、障がい者・学生・児童と幅広く」²、多世代交流がこの活動の特徴でもある。

表1 ほっとスペースさつき 2015年4月～2016年3月までの来訪者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ 人数	1日 平均
1回	16	19	10	10	8	5	11	10	7	12	18	9		
2回	12	13	9	9	15	13	14	15	10	18	18	15		
3回	19	8	12	10	12	2	15	8	12	8	10	24		
4回	17	19	16	8	14	10	11	13	12	18	15	18		
5回	17	13	7	6	17	13	14	10	8	6	11	11		
6回	14	11	14	9	6	9	16	17	15	13	18	19		
7回	11	6	12	6	11	14	20	10	11	8	9	12		
8回	7	9	22	7	10	10	8	5	6	13	16	14		
9回	15		15	10		5	10		25			13		
10回	15		11									17		
	143	98	128	75	93	81	119	88	106	96	115	152	1294	10.8

表2 ほっとスペースきよか 2015年5月～2016年3月までの来訪者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ 人数	1日 平均
1回		36	14	13	12	20	18	8	7	8	17	21		
2回			16	12	9	17	11	12	21	10	17	7		
3回					7	11	15	33	23		15	12		
4回							12	16			12			
		36	30	25	28	48	56	69	51	18	61	40	462	15

コミュニティ・サロン運営による地域の拠点づくりが地域福祉力の形成にどのような効果があるのかについては、2015年度の実証的な知見では以下の点が確認された。

①ほっとスペースさつきが開所から3年目を迎

え、これまでは見学希望の来訪者が多かったが、社会福祉協議会、近隣市も含む地域住民、団体などからの開所方法の問合せや講演依頼が増えている傾向にある。②介護予防・日常生活支援総合事業や認知症施策の新オレンジプランの一事業であ

る認知症カフェの促進等の動向が背景にあると思われるが、コミュニティ・サロンの運営が先行事例となり、地域包括支援センターの中などにノウハウの一部を取り入れたコミュニティカフェ（オレンジカフェ）などが誕生した。③民生委員やその経験者、地域活動の推進者等がサロンのスタッフや運営委員として参画しており、そのことが生活課題をかかえる来訪者と地域資源をつなぐ契機を作り出している。こうした仕組みづくりの妥当性は、他の研究報告においても認められている³。

岡村重夫⁴が、地域を組織化するためには地域特性に合わせて実施する必要があると述べて久しいが、居場所やサロンづくりが「地域の支え合い活動を生み出す基盤となる仕組み」⁵と言われる今日においても、自然発生型でも仕掛け型でも地域特性や地域ニーズを考慮したものでなければ、その効果への期待は難しいであろう。サロン運営を継続しながら地域課題を整理し、地域福祉力や地域活性化への効果を具体的に検討することが当面の課題である。



ほっとスペースきよか 開所式



話が弾む ほっとスペースさつき

<注>

- 1 サロンは、地域の人々が交流を目的として集まる場所を指すことが一般的である。「コミュニティカフェ」、「通いの場」なども交流目的で集まる場所であるが、重点とするところが微妙に異なる。ここでは、地域の多世代の人が集まる居場所として捉える。
- 2 特集「みんなで支える！地域の暮らし」『ネットワーク 339 号』東京ボランティア・市民活動センター発行（2015.11. 20）7－8 頁。ほっとスペースさつきの活動が掲載。
- 3 岡崎昌枝「地域特性に応じた効果的な地域組織化活動の要件～「ふれあい・いきいきサロン」活動に着目して～」第 23 回日本介護福祉学会大会 発表報告要旨集（2015.9. 27）77 頁
- 4 岡村重夫『地域福祉論』光生館（1974）
- 5 公益財団法人さわやか福祉財団編『シリーズ住民主体の生活支援シリーズマニュアル 3 居場所・サロンづくり』全国社会福祉協議会（2016.3）